

寄付・寄贈

ありがとうございました。心より感謝申し上げます。 (令和3年4月1日～令和3年7月15日)

因幡電機産業(株)様

みんなの家 家族会 様

ワークセンターいまがわ 様

木村 憲治 様

宮崎 澄男 様

榎フレイムエイジ 様

他匿名希望者 13名 (順不同)

寄付金 (令和3年度) 累計額 2,000,000 円

オンライン福祉セミナー報告 (大阪コミュニティ財団助成事業)

通所支援部 施設長 森 正明

昨年実施する予定だった第9回総合福祉セミナーですが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期となっております。

今回も開催の有無を検討していましたが前田崇博教授からオンライン配信という提案をいただき、大阪コミュニティ財団の助成を受け、3月29日(月)無事に開催することができました。関係者をはじめ、配信をご覧になられた皆様方、本当にありがとうございました。

実践報告は、新型コロナウイルス感染症に関するテーマとなりました。支援現場、教育現場でのコロナ対策や今後の課題、クラスター発生施設への応援、重度知的障がい者の安全と地域社会の安心のためにコロナで学んだこと、そして前田教授からは、「コロナ禍でのモラルハザード



と人権問題」とそれぞれの立場から実践報告を行いました。コロナ禍だからこその取り組み、課題や問題についてお話をいただきました。感染対策等については支援現場でも活かして

大阪コミュニティ財団助成事業

◆地域学会「第9回 総合福祉セミナー」**無料**

絆

支えあう地域社会へ
未来へ今
私たちがすべきこと

2021年 **3月29日** 月
17:30～19:00

～介護・支援の垣根を越えて
本人中心の暮らし・生き方について考える～

開催 大阪城南女子短期大学 第5学会 司会 特定非営利活動法人だんでらいおん 副主任 津町 真木子

実践報告 17:30～18:30

- 【Withコロナ～未来へ繋げる！
重度知的障がい者の安全と地域社会の安心のために、コロナで学んだこと】
特定非営利活動法人だんでらいおん 理事長 統括施設長 久保 哲哉
- 【クラスター発生施設への応援を通して感じたこと、学んだこと】
特定非営利活動法人だんでらいおん 居宅支援部 施設長 栗橋 亮
- 【生活介護事業所「こふふーと」]リアン]におけるコロナ対応】
特定非営利活動法人だんでらいおん 通所支援部 施設長 森 正明
- 【コロナ禍でのモラルハザードと人権問題～苦情解決・第三者委員としての提言】
大阪城南女子短期大学 教授 前田 崇博

【コロナ禍での介護福祉士教育の現状と課題】
大阪城南女子短期大学 准教授 多田 幹子
専任講師 瀬 正保
専任講師 長橋 幸恵

名譽応援プロジェクト 18:40～19:00

司会、重度障がいを持つ方々の施設を作りたくと考えている若者の想いを聞いて応援していく、新たな絆を築いていく。

- 【私の夢・目標】 ①夢～私にできること
②挑戦～より良い生活のために～
③発信～楽しいを広めよう～

THREE.PEACE333 奥廣 圭祐

いきたいと思います。その後、若者応援プロジェクトとして、「私の夢・目標」というテーマで THREE.PEACE333 の奥廣圭祐さんに発表していただきました。奥廣さんの「自身の行っている活動・取り組みをInstagramで発信していく力・発信」は素晴らしいと感じました。今回は初めてのオンライン配信での総合福祉セミナーとなりましたが、大きな混乱なく無事に終えることができました。

編集後記

いくぶん残暑も和らぎ、のびのびとした日が多くなりました。皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。今年度最初の機関紙は、総会のご報告や新入職員からのご挨拶など、新年度ならではの内容となっております。また今回は福祉セミナーをオンラインで実施したご報告や、花見風レクリエーション、見守りセンサーや福祉車両導入のご報告についての記事がございます。是非ご一読いただけますようお願い申し上げます。(担当 川端・池田)



特定非営利活動法人 だんでらいおん

たんぼぼ通信

令和3年夏号

障がいの重度化・高齢化、親の高齢化に対応できる
共生型の施設づくり及び地域社会を目指して

発行元：特定非営利活動法人
だんでらいおん
発行責任者：久保 哲哉
〒546-0023
大阪府東住吉区矢田5-9-8
TEL：06-7668-1101
発行日：令和3年9月13日

令和3年度 会員総会のご報告

総務部部长 辻 正晃

5月22日(土)だんでらいおん新館にて「令和3年度 会員総会」が開催されました。昨年に続きコロナ禍での開催にあたり、皆様の安全確保と感染拡大防止の観点から会場へは役員および会員代表による縮小開催とさせていただきます。出席者と委任状により総会が成立したことをご報告いたしますと共に、会員皆様にはご理解とご協力をいただき、改めて感謝申し上げます。

令和2年度事業・決算報告、令和3年度事業計画・予算案、役員改正案についての説明が行われ、可決承認されました。私たち、だんでらいおんの活動について直接、ご確認とご理解をいただける貴重な機会ですので、次回は皆様ぜひご出席いただけますようお願いいたします。

新型コロナウイルスによる未曾有の事態で、利用者様には日中活動や余暇活動等での自粛により、とても窮屈に感じておられる事と思います。一方では余暇活動で公共交通機関の利用を自粛し、ウォーキングによる運動量

が増え、体重減少で健康面への好影響や、マスクを拒み着用できなかった利用者様が繰り返しのアプローチで着用できるようになったり、手洗い・消毒と職員も含め、感染対策意識が高まり、実行されています。インフルエンザの発症もほとんど聞かず、これほど効果がある事を知る機会となりました。業務においてもオンライン会議や配信を行ったりと、コロナ禍だからこそと言えるものもあります。そんな中、ようやくワクチン接種が拡がりを見せ、行事等の再開やウィズコロナ、アフターコロナにおける新たな取り組みを考えるのも楽しみとなってきました。引き続き感染対策に万全を期し感染を防ぎながら、地域の障がい者支援に、より一層注力してまいります。末筆ながら、皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げますと共に、一日でも早く会員の皆様とお会いできる事を願っております。



令和2年度決算報告

事業活動の収入につきまして、自立支援費等収入では、事業再編により報酬単位数が上がったため増収となり、処遇改善収入も自立支援費等収入の増収や特定処遇改善加算の追加により増収となりました。支出につきましては、人件費の職員報酬・諸手当等が常勤職員の増員や定昇、ベラスアップにより増額となり、また非常勤職員も増員により増額となりました。事務費・事業費では、コロナウイルス感染症対策のため消耗品等の購入や職員へのコロナ見舞金により経費が増額となりました。以上の結果、当期活動収支差額が29,393,195円となりました。

貸借対照表
令和3年3月31日 現在

資産の部	
流動資産	250,034,241
現金	1,246,811
預金	75,345,246
未収金	168,531,157
貯蓄金	139,697
立替金	379,565
前払金	4,391,765
固定資産	381,092,634
基本財産	337,650,985
建物	201,379,923
土地	136,271,062
その他の固定資産	43,441,649
建物付属設備	8,729,349
構築物	1,211,735
車両運搬具	7,689,423
器具及び備品	5,770,806
建積立預金	20,040,336
資産の部合計	631,126,875
負債の部	
流動負債	133,782,135
未払金	133,384,028
預り金	398,107
固定負債	42,784,000
設備資金借入金	42,784,000
負債の部合計	176,566,135
純資産の部	
基本金	218,750,467
3号基本金	218,750,467
その他の積立金	45,000,000
人件費積立金	15,000,000
修繕積立金	15,000,000
備品等購入積立金	15,000,000
次期繰越活動収支差額	190,810,273
当期繰越活動収支差額	190,810,273
当期活動収支差額	29,393,195
純資産の部合計	454,560,740
負債及び純資産の部合計	631,126,875

事業活動収支計算書
(自)令和2年4月1日(至)令和3年3月31日

勘定科目		本年度決算
事業活動収支の部	収入	
	自立支援費等収入	289,317,196
	補助事業等収入	2,765,091
	利用料収入	9,326,950
	処遇改善交付金収入	24,470,474
	就労事業収入	820,539
	寄附金収入	4,859,604
	雑収入	3,703,003
	事業活動収入計(1)	335,262,857
	支出	
人件費支出	248,654,976	
事務費支出	25,981,116	
事業費支出	21,116,625	
減価償却費	10,944,874	
事業活動支出計(2)	306,697,591	
事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	28,565,266	
事業活動外収支の部	収入	
	受取利息配当金収入	48,330
	経理区分間繰入金収入	2,823,267
	事業活動外収入計(4)	2,871,597
	借入金利息支出	294,230
	経理区分間繰入金支出	2,823,267
	事業外雑損失	24,802
	事業活動外支出計(5)	3,142,299
	事業活動外収支差額(6)=(4)-(5)	-270,702
	経常収支差額(7)=(3)+(6)	28,294,564
特別収入	1,098,631	
特別支出	1,098,631	
特別収支差額(8)=(7)+(8)-(9)	0	
当期繰越活動収支差額(11)=(7)+(8)	29,393,195	
前期繰越活動収支差額(12)	161,417,078	
当期末繰越活動収支差額(13)=(11)+(12)	190,810,273	
次期繰越活動収支差額(18)=(13)+(14)+(16)-(17)	190,810,273	



はなみふう 花見風レクリエーション

生活介護 **こんふおーと** いきいき班 **どひ 土肥** 班長

4月に花見風レクリエーションを行いました。事前アンケートで選んでいただいたお弁当を食べながら、プロジェクターを使用して各班の散策の写真やYouTubeで桜の動画を視聴しました。新型コロナウイルス感染防止の観点から外でのお花見は中止になり非常に残念でしたが、昼食を嬉しそうに美味しく召し上がられてい

る利用者様、集中して動画を観られている利用者様等、全体的に雰囲気が良く職員にとっても嬉しい場面が多々見られました。コロナウイルスの影響がいつまで続くか定かではございませんが、少しでも楽しんでいただけるように職員一同工夫し、今後も笑顔溢れるレクリエーションを提供していきたいと思ひます。



見守りセンサー「aams」を導入いたしました。 (大阪市障がい福祉分野におけるロボット等導入支援事業)

当法人の運営するグループホーム「みんなの家 フェロー」の15床に、見守りセンサー「aams」を導入いたしました。センサーは居室の寝具に設置しており、利用者様の就寝時の状況をモニタリングすることができます。利用者様の安心安全な生活と、支援の向上に役立つよう、活用してまいりたいと思ひます。今回の導入には、大阪市より購入補助金の助成をいただいていると共に、多くの皆様のご助力をいただき導入している事を報告させていただきます。また助成事業とは別に、ご家族様からご寄付をいただき、短期入所事業所「ルポゼ」の10床にも見守りセンサーを導入している事を、併せてご報告させていただきます。関係者の皆様方に心より感謝申し上げます。



新入職員挨拶



生活介護 **リアン** 佐野 支援員

今年4月から、リアンひだまり班の配属となりました。3月までは、障がい者施設で支援員として4年間働いていました。以前とは、また仕事の中身も施設の雰囲気も違いますが、毎日楽しく利用者様と過ごさせていただいています。
少し初々しさはかけていますが、「楽しく！元気に！笑顔で！」を大切に新しい気持ちで頑張っていきますので、皆さんよろしくお願いいたします。



生活介護 **こんふおーと** 壬生 支援員

4月より「だんでらいおん」に入職させていただきました。いきいき班に所属させていただいています。施設の雰囲気が良く、実習中、利用者様の笑顔が多く見られ「ここで働きたい」と思い、入職を希望しました。
2カ月が経過し、仕事は毎日大変ですが利用者様とのふれあいがとても楽しくやりがいを感じます。今後は、「自分らしく明るく元気」に利用者様とコミュニケーションを図り関係性を築いていけるよう頑張っていきます。これからご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



生活介護 **リアン** 山口 支援員

毎日楽しく勤務させていただいております。今年度新卒で入社しました。短大で2年間保育分野を勉強してきました。保育とはまた違う、福祉分野になり、まだまだ分からない事もありますが、優しい先輩方に教えて貰い、毎日一つでも多く仕事を覚えていきたいと思ひます。そして持ち前の明るさと元気を活かして頑張ります。よろしくお願いいたします。



生活介護 **こんふおーと** 中西 支援員

4月に入職させていただき、のびのび班に配属となりました。芸術系短大の保育学科に通ってました。
大学では、保育について学んでいた為、今まで障がいを持った方々とは関わった事はありません。知識も未熟ではありますが「持ち前の明るさ」を思う存分発揮して、利用者様と関わりたいと思ひます。大学で学んだ保育の知識を生かし、創作や音楽活動等、利用者様が楽しめる活動や支援をたくさん行っていきたいです。一日でも早くだんでらいおんの職員として一人前になれるよう日々、精進してまいります。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

福祉車両寄贈 (日本財団 福祉車両助成事業)

この度、日本財団様より助成金の交付を受け、日産セレナを購入いたしました。令和3年3月30日に無事贈呈式を執り行い、引き渡しを受けました。生活介護事業所「リアン」の送迎など活動の車両として、有意義に活用させていただきたいと思ひます。日本財団様並びにご寄付いただいております皆様方に心より感謝申し上げます。

